

マーケットの動き (2023年5月1日～5月5日)

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

5月FOMC（米国連邦公開市場委員会）は市場予想通り0.25%の利上げで通過した一方で、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ長期化に対する警戒感や景気後退懸念が相場の重荷となり、米国株式は下落しました。その後、米国IT大手の良好な決算内容などが好材料となり下げ幅を縮めて週を終えました。

欧州株式市場は、ECB（欧州中央銀行）による利上げ幅の縮小が決定しましたが、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し (2023年5月)

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、サービス業景況感の底堅さや個人消費が下支えとなりますが、インフレ高止まりや銀行の貸出基準厳格化への警戒感から、業績見通しの引き下げに対する懸念が残ります。米国や欧州の金融当局による迅速な対応や銀行決算の底堅さを受けた金融システム不安の後退は世界の株式相場にとってプラスとみられます。しかしながら、米国では、これまでの金融引き締めの影響や、銀行の貸出基準厳格化に対する警戒感が残ります。さらにコアインフレ率の減速ペースに対する先行き不透明感を受けた利下げ観測の後退もあり、株式相場は上値が重くなるとみえています。また、欧州では中国の経済活動再開を受けた外需の回復が見込まれる一方、コアインフレ率の高止まりと賃金上昇圧力からECB（欧州中央銀行）は金融引き締め継続の重要性を強調していることから、米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	5月5日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,136.25	▲0.80%	1.12%	9.70%	▲0.26%
NYダウ	33,674.38	▲1.24%	0.57%	3.92%	2.05%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

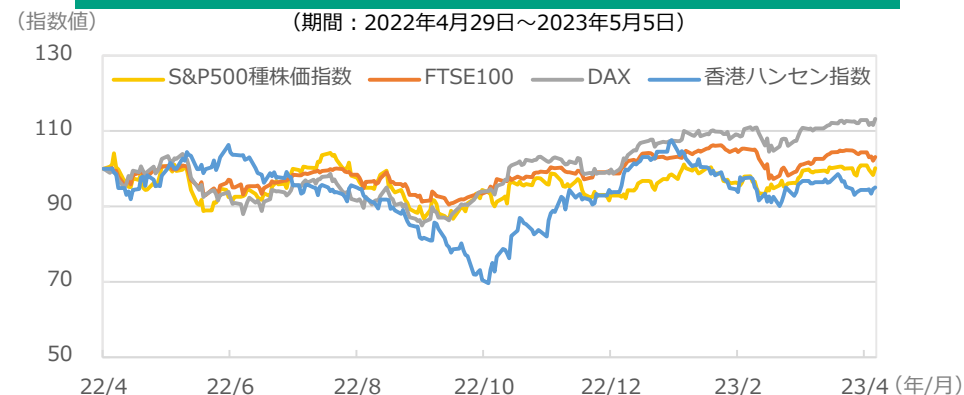
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202305_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年4月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成